

1 学校教育目標
<b>「あこがれ」をもち、心豊かに学び合い高め合う児童の育成</b> <b>－ やさしく かしく たくましく －</b>

2 学校経営ビジョン	
めざす児童像	「キラッと輝く瞳で取り組み、きばって伸びる子どもに！」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性 協力して生活を明るくする子 (やさしく)</li> <li>・確かな学力 学び合い、表現を工夫する子 (かしく)</li> <li>・健康や体力 ねばり強く最後までやり通す子 (たくましく)</li> </ul>
めざす教師像	「子どもを愛し、子どもとともに動き、自らも成長し続ける、信頼される教師に！」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心を見つめ、理解に努める教師</li> <li>・授業力を高め合い、常に研鑽する教師</li> <li>・厳しさと優しさを持ち、教育愛に燃え行動する教師</li> </ul>
めざす学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的で活気に満ちた学校</li> <li>・明るく清潔で落ち着いた学校</li> <li>・地域に開かれ信頼で結ばれた学校</li> </ul>

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
<p>(1) 様々な交流の場で表現することを通して、「あこがれ」の心を育て、豊かな人間性を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金立養護学校、福祉施設、みのり学級、異学年交流</li> <li>・保護者、地域の方の話を聞く機会を設ける</li> </ul> <p>(2) 生活・学習習慣づくりと『学び合い』学習により確かな学力をつける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『学び合い』学習の充実のより、全員が80点以上の分かる授業をめざす</li> <li>・スピーチタイムを通して伝え合う力を高める</li> </ul> <p>(3) 地域に学び、地域に守られ、地域に発信する地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動等地域への貢献、発信</li> <li>・児童自らが地域に向けて発信を行う</li> </ul> <p>(4) 幼保小中連携を推進し、出番・役割を与え、表現する場を持たせ自信をつける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の幼小中との職員を含めた交流活動を推進する</li> <li>・児童の出番・役割を位置づけ表現の場を保障する</li> </ul> <p>(5) 地域の期待に応える職員の資質向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異学年交流・活動の場を、同僚に学ぶ場と位置づける</li> <li>・児童養護施設との連携を深め、児童理解についての研修の場とする。</li> </ul>	<p>21年度は、学力向上を重点目標として取り組んできた。『学び合い』学習(多数科)への取り組みやモジュール学習の実施で、学級全体の伸びが見えてきた。しかし学力調査等の結果は、まだ十分とは言えない。</p> <p>幼保小中連携については、雄飛学園構想を中心に、取り組みが定着し、よりよい連携へと改善されつつある。また、養護学校との交流や地域との連携も計画的・効果的に行われ、学校の特色として定着している。</p> <p>本年度は、引き続き学力向上を重点課題としてとらえ、『学び合い』学習を多教科で実践し、具体的に(各種評価テスト等の実績で)成果をあげていきたい。そのために、児童の学力向上を支える表現力の育成を重点目標として設定し、教育活動の様々な場面で推進していきたい。</p> <p>また、異学年・小中・地域連携をすすめ「あこがれ」の心を育むことを意識し教育活動を仕組んでいきたい。</p>

5 総括表				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学 校 運	○学校経営方針	学校教育目標及び本年度の重点目標の周知	○教職員、児童、保護者、地域に周知する。重点目標の認知度80%以上。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議、全校集会等で説明する。</li> <li>・保護者へはHP、学校便り、PTA総会、学級懇談会等で周知し、具体的取組を説明する。</li> <li>・学校便りの地域回覧や、地域の会合に参加し、説明する。</li> </ul>
	○教職員の資質向上	授業力、学級経営力の向上	○校内研修を通して授業力向上。全員研究授業2回実施。 ○「同僚に学ぶ研修」「実践報告会」を計画的に実施し、相互研修を推進。全員が1回以上講師として実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『学び合い』の研修に取り組み、全員2回研究授業を実施し指導力を向上させる。</li> <li>・異学年交流や行事实施後の評価や、職員の持ち味を生かした研修を実施し、相互に学び合う。</li> <li>・長期休業中に、担任の学級経営について発表し合う機会を持ち、相互研修を図る。</li> </ul>

営	○幼保小中連携	雄飛学園構想による金泉校区の教育推進	○幼保小、小小、小中連携では、必ず児童に出番・役割を与え、表現する機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換を行う。（各団体と年間3回）</li> <li>・長期休業中や参観日等、職員の参観・体験を推進する。</li> <li>・児童の交流活動を推進し、出番・役割の中に必ず表現の場を設け、自信を持たせる。</li> </ul>
	○開かれた学校づくり	学校公開と学校情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○HPや学校だよりでの広報（月1回以上）</li> <li>○参観日を活用し、保護者等との意見交換の場を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便りの地域回覧、HPの定期的な更新</li> <li>・積極的に保護者の意見を収集するシステム（行事・参観後のアンケート、意見箱、面談実施等）を作る。</li> </ul>
教育活動	●学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『学び合い』学習による学力向上</li> <li>・スピーチタイムの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元毎の評価テスト全員80点以上</li> <li>○学力検査等で全国（県・市）平均以上。</li> <li>○スピーチタイムの特設で表現力（話し方、聞き方）の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T・T・少人数指導を算数科と理科で実施し、個に応じた指導を充実させる。</li> <li>・『学び合い』学習に積極的に取り組む。</li> <li>・スピーチタイムを計画的に実施する。</li> </ul>
	●心の教育	人権尊重の教育、道徳の時間の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校が楽しい」と答える児童90%以上</li> <li>○道徳の授業公開を計画的に行ない、保護者とともに「命」について考える機会を作る。（年1回以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1日の「いじめを考える日」を計画的に実施する。</li> <li>・フリー参観デーやPTA授業参観等で年に1回生命尊重を主題とした道徳の授業を公開する。事前に周知しておく。</li> <li>・月ごと、学期ごとに生活アンケートを実施し、児童の実態を把握し、適時に対応する。</li> </ul>
	●健康・体づくり	望ましい食習慣と自己管理能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝食摂取率95%以上</li> <li>○計画的な食教育（健康教育）を、栄養士・養護教諭とのT・Tで行う。（全クラス各1回以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いきいき金立っ子」チェック週間を設け（学期1回）、朝食抜きゼロを目指す。</li> <li>・全学級、養護教諭・栄養士とのT・Tで食育や健康の授業を行う。</li> <li>・食のアンケート、給食試食会を実施し、家庭と連携した食指導を充実させる。</li> </ul>
特定課題	●小学校低学年の学習環境の改善充実	低学年少人数指導による基本的な生活習慣・学習習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「あいさつをする」「授業時間と休み時間のけじめをつける」「しっかりと聞き、言葉できちんと伝える」「宿題をきちんとする」の4点の徹底。（90%以上達成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的にあいさつの場面を意識させ、具体的に指導する。</li> <li>・全校で共通理解した学習のルールを徹底して身につけさせる。</li> <li>・話形を常掲しておき、話し方を意識させる。</li> <li>・宿題の出し方に系統性を持たせ、保護者と連携して家庭学習の習慣化に取り組む。</li> </ul>